



お手を  
取って

FOR ADULT ONLY



*Re:ZERO-Starting Life in Another World  
Unofficial Fanbook #4  
Reinhardt \* Subaru  
presented by Toujyu / Miko.Y*



お手を  
取って

FOR ADULT ONLY

※アヤマツイでスタートしてます

※トンチンカンの場面で誰も助けに来てくれなかったスバル君

※クルシュ様は白鯨を見つけることができなかった設定

※ヴィル館が健在なのでラインハルトの家庭事情は本編のまま







はいとこそ  
お招きいただき  
ありがとうございます



アクアード卿  
そちらの女性は何？



ああ  
紹介するよ嬢さんは

はじめまして  
剣聖様

わたくし  
ナツミ・シユバルツと  
申します

彼女は私の恩人でね  
今日はお礼がたくくて  
招待したんだ



ラインハルト殿  
もし良ければパーティーの間  
ナツミ様につき添っていただけ  
ないだろうか？



あっそうだ



歳の近い貴殿といったほうが  
ナツミ様も気兼ねなく  
パーティーを楽しめる  
のではないかと思っていますね

そういうことでしたら

ナツミ様が良ければ  
ご同行致します



是非  
よろしくお願ひしますわ





ほえと  
サートだな

劍聖様は例えば  
世界の全てを犠牲にしても  
成し遂げたいことは  
ありますか？



：そうですか  
わたくしが初めて  
貴方を見たとき

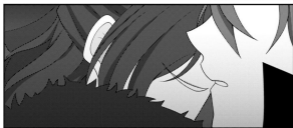


僕はこの国を護る立場なので  
全てを犠牲にというのは  
到底出来ないことですわ



貴方の愛が  
全てを燃やす炎に  
見えました









あのとき  
俺はお前を殺すつもり  
だったんだ

飲み物に毒を入れたり  
したんだぜ

まあでも  
殺れる気が全然  
しないのなんの



ほんとチートだよな  
お前

てかよく俺が分かったな  
まさかここで会うとは  
思わなかったぜ







で？  
何のようですか  
刺聖様

あのときの  
続きをしよう



はあ？  
別にあれ以上話す  
ことは何もないぜ？



……













こいつは何を言っているんだ  
助けを求めたけど？  
そんなの今までに  
何回も  
何回も  
助けてほしいと  
泣いて叫んで  
手を伸ばした  
結果  
誰も助けてはくれ  
なかつたけどな  
それでも  
あの子のために  
少しでも前へ  
前へ  
無力な俺には  
選択肢なんてなかつた



それでも差し出されたその手を払い落とせない程には



俺は道を誤っていたのかもしれない

END



## あとがき

ここまで読んでいただきありがとうございました！！  
アヤマツのトンチンカンのシーンで誰も助けに来てくれなかったスバル君の手を、  
炎の夜の前にラインハルトが取っていたらという話でした。  
最初はライスバの工口本が描きたかっただけだったのに、  
まさかこんな長めの話になるとは思わなかった…えっちシーン少なくてごめんなさい…

